

区政を聞く 一般質問(要旨) 詳しい内容は、会議録(11月中旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

自由民主党議員団

自然災害対策の見直しとさらなる検討を

ゲリラ豪雨等自然災害への対策

問 台風の大規模化、ゲリラ豪雨の多発など水害対策の充実が欠かせないと考えるが、排水設備を含めた区の取り組み状況、今後の方針はどのようなのか。



ボート組立訓練

答 毎年水防連絡会を開催し、注意を要する箇所を指定し、台風や集中豪雨の際には重点的に巡視や点検を行っている。また消防署・消防団との合同水防演習を実施し、水防技術の継承や連携の向上を図っている。今後もハード・ソフトの両面からより水害に強いまちとなるよう取り組む。問 これまでの基準をはるかに超える現象に対して特別警報が発表できることとなったが、発せられる基準や区としての周知方法はどのように考えているのか。

答 地震特別警報は震度6弱以上が予想される場合、津波特別警報は3mを上回る場合、火山噴火特別警報はこれまでの噴火警報のうち、居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想されるレベル4または5の場合と示されている。それ以外については具体的な数字は示されておらず過去の災害事象に照らして判断される。発令された場合、公式ホームページや安全・安心情報メール、防災行政無線、ツイッター、フェイスブック、かつ

自由民主党議員団

自然災害対策の見直しとさらなる検討を

子育て支援策

問 平成27年4月から本格実施が見込まれる新たな子ども・子育て支援制度を受け、今後、本区の子育て支援施策をどのように展開していくのか。

答 子育て支援に関するニーズ調査を実施し平成27年度から5年間を計画期間とする子ども・子育て支援事業計画を策定していく。また、幼児期の学校教育・保育の総合的な推進を図り、待機児童ゼロを目指すなど、区民の様々なニーズに対応できる子育て支援事業の展開を図っていく。問 子育て環境の充実を目指し策定が進められる子ども・子育て支援事業計画について、計画の柱となるものはどのようなものと考えているのか。

答 待機児童の解消や質の高い教育・保育の提供、地域の実情に応じた子育て支援事業の展開など、子育て支援に係る需給計画を柱とした計画になる。母子の健康推進や児童虐待防止、児童の発達支援など、親と子の心身の健康と子どもの発育を支援していくため、現在の子育て支援行動計画に掲げている事業を進展させ、子ども・子育て支援事業計画の中に取り入れていきたいと考えている。問 他の質問項目 待機児童解消加速化プラン など

問 教師や子どもたちに自信と誇りをもたせるために、具体的にどのように取り組んでいこうと考えているのか。答 子どもがもてる能力やがんばりを学校、教師が認め、区も表彰等で認め励ます機会を増やしていく。また教師の職層やニーズに合った研修や校内での切磋琢磨により指導力向上を図り、優秀な教員を表彰していく。協働という視点からも、家庭や地域

自由民主党議員団

自然災害対策の見直しとさらなる検討を

子育て支援策

とも積極的に連携して進めていく考えである。問 教師の授業力の向上や校長の裁量権の拡大などにおける教育委員会が担うべき役割について、具体的にどのように取り組んでいくのか。

答 教師の授業力の向上をはかるため、若手教師塾をはじめとした教員研修について、経験や能力、職層に応じた内容の充実に取り組み。校長の裁量権の拡大については、各学校の実態に応じた取り組みを強力で支援するため、校長が策定した学力向上プランなどに対して教育委員会が予算的な支援を行う「葛飾学力伸び伸びプラン」を充実させる。そして成果が上がった事例を区内全校に広めていく。問 他の質問項目 確かな学力定着度調査 など

問 かつしかの元気食堂「事業の現在の進捗状況はどうなっているのか。答 今年6月に栄養専門の大学の識者、飲食店の関係者や外食利用者を委員としてガイドライン策定検討会を設置した。今年度中に「かつしかの元気食堂」に認定する店舗の条件を定めるための検討を行っている。問 他の質問項目 実際に利用されるための工夫

問 新たなキャブテン翼のキャラクターモニメント設置をPRするためにはどのような方策を考えているのか。答 今定例会に提案している補正予算で新たなモニメントの設置経費のほか、京成線主要駅へのPR用ポスターの掲出、銅像巡りが楽しめるマップの作成経費なども計上した。作者の高橋陽一先生のご協力をいただきながら継続的な情報発信を行い、マスコミに取り上げられ大きな話題となるようPRに努める。問 他の質問項目 フードフェスタ など

日本共産党葛飾区議会議員団

庁舎建替えより区民のくらし・福祉優先に

区長の政治姿勢

問 安倍内閣は、区民生活に甚大な影響を及ぼす消費税増税や社会保障の大改革を打ち出しているが、こうした政治のあり方について区長の認識を伺う。

答 国際社会の中で、我が国に期待されている財政健全化と社会保障制度の安定的運営の実現という、将来的な重要課題に対して、様々な議論が積み重ねられてきたものと認識している。今後も国の動向を注視していく。問 安倍政権の暴走、社会保障への新たな攻撃から区民生活を守るために

問 区役所建替え計画の倫理観の欠如は新館を同時に壊して建替えるというところに表れている。新館は築35年であり、10年以内に建替える根拠はない。区役所建替え計画は、直ちに白紙撤回すべきと思うがどうか。答 これからの区役所に求められる災害対策機能、利便性の向上、現庁舎を利用した場合の維持管理費用の増加などを総合的に検討した結果、建替えることが望ましいとの報告がまとめられた。区としても、適切な維持管理を継続した上で、本館の築60年を目途に建替えを行うべきと考えている。問 他の質問項目 立石駅北口再開発の

問 区役所建替え計画の倫理観の欠如は新館を同時に壊して建替えるというところに表れている。新館は築35年であり、10年以内に建替える根拠はない。区役所建替え計画は、直ちに白紙撤回すべきと思うがどうか。答 これからの区役所に求められる災害対策機能、利便性の向上、現庁舎を利用した場合の維持管理費用の増加などを総合的に検討した結果、建替えることが望ましいとの報告がまとめられた。区としても、適切な維持管理を継続した上で、本館の築60年を目途に建替えを行うべきと考えている。問 他の質問項目 立石駅北口再開発の

民主党葛飾

子育て環境の充実と介護予防に対する積極的な支援を

公共サインの再構築

問 利用者視点に立った公共サインの再構築を行うべきと考えるがどうか。答 実態調査などを行い利用者が求めている情報を把握する。また国際化やユニバーサルデザインへの配慮などの視点も付加し、再構築を進める。問 他の質問項目 防災関連の公共サインの充実 など

問 子ども・子育て支援新制度は、区民にどんなメリットがあるか。答 認可保育所以外の保育施設なども区が利用調整などを行うようになることに加え、まず利用希望者が保育の必要性の認定を受ける仕組みになることにより、多様な保育資源をフルに活用できるようになると考える。問 他の質問項目 国の議論の状況

問 介護予防の重要性や事業の案内が、区民に十分行き届いていないことが課題である。高齢者総合相談センター職員が事業の案内や参加を促すなど、周知方法の改善に取り組む。問 他の質問項目 介護保険事業計画への反映 など

問 新小岩地区では救急搬送を受け入れる医療機関がないが、新病院はどう対応するのか。答 本区の医療環境の現状を踏まえ、東京都指定二次救急医療機関として救急搬送への対応についても選定事業者から提案されている。問 他の質問項目 区としての指針



築35年の区役所新館

子どもと大学と東京理科大学との連携 掘切草蒲園駅周辺のまちづくりの推進とその機運の高揚

区政を聞く 一般質問(要旨)

詳しい内容は、会議録(11月中旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

※他の質問項目 理科キャラバン隊の推進 など

「地域防災会議」と防災対策

問 地域防災会議からどのように情報や工夫を吸い上げ、区内へ波及させていくのか、区の見解を伺う。

答 堀切・柴又地区の地域別地域防災会議を進めている避難所運営や要援護者対策、マンションの垂直避難などの先進的取組みを事例集などにまとめ、ホームページでの紹介や発表会を開催し、区内全域に波及させる。

※他の質問項目 防災実務担当者の意見交換の場の提供 など

まちゼミ

問 「まちゼミ」に対する見解を伺う。

答 各店主などが講師となり地域の方に各店舗の存在や特徴を知ってもらおう「まちゼミ」は、今年青戸の商店街で実施し好評であった。人材発掘など課題はあるが商店街活性化につながる効果があり、積極的に支援する。

※他の質問項目 お祭りなどの時期に合わせた実施

堀切菖蒲園駅周辺のまちづくり

問 堀切・南綾瀬地域に新設の可能性のある地区図書館に大きな期待を寄せられている。区の見解を伺う。

答 今年度中に候補地を絞り込み、地域の方に親しまれる利便性の高い地区図書館を可能な限り早期に整備する。



堀切菖蒲園駅

※他の質問項目 堀切菖蒲園駅前の道路にかかる高架の騒音対策 など

地域政党 葛飾

災害対策において人命を守るための初動態勢の強化を

消費税増税を見据えた地域経済対策

問 消費税の引き上げを、区はどのように捉えているか。また、増税による区内中小企業の課題と、区の対応策を示されたい。

答 消費税引き上げで地方に配分される地方消費税交付金の使途等は国や都から明確に示されていないが、待機児童解消や介護予防といった少子高齢化への対応を着実に進めていきたいと考えている。中小企業においては、経営の圧迫、一時的な売り上げの減少が懸念されるため、今後とも区制度融資の拡充など、常に先を見越した迅速な対応に努めていきたい。

「協働」に向けた区の取り組み

問 「夢と誇りあるふるさと葛飾」の実現に向けて、区・区民・事業者が協働の理念やビジョンを共有していくことが必要であると考えるが、区の見解を示されたい。

答 各地域で実際に行われている協働等について様々な媒体を通じ、積極的な情報発信に努めるとともに、区民や事業者に対し、活動の場や資材などの支援等が必要と考えている。

街づくり

問 業務支援や調査などははじめとする街づくりコンサルタントの活用において、その成果はどのようなものかと考えているか。

答 地区の現況の情報とデータ処理を迅速かつ的確に進めていくことや、地区の特性にあった計画・事業手法の提案等が可能となる。

※他の質問項目 継続的にコンサルタントが活用されている地域の実施結果の総括と事業展開 など

果の総括と事業展開 など

防災・危機管理対策

問 本年4月から設置された、危機管理・減災対策推進委員会の目的と位置付け、開催実績、また地域防災計画改定にあたっての初動態勢強化など5つの視点の検討・決定の経緯について示されたい。



水防訓練

答 危機管理対策や減災対策の充実及び強化を図り、危機管理対策を総合的かつ計画的に推進し、区民の生命、身体及び財産を災害や危機管理事象から守ることを目的に設置したものである。5つの視点は、大規模災害時における初動態勢などの様々な重要課題に対処するため、計6回の委員会での議論を踏まえて決定した。

※他の質問項目 委員会やその資料及び議事録の公開の必要性 など

葛飾区議会公明党

健康文化都市葛飾を築く

健康文化都市を目指す取り組み

問 本区は健康文化都市として、日本国憲法にあり、健康と文化という人類普遍の指標を最優先の目標として取り組むべきである。「健康都市宣言」を行い、本区が健康に最前線を取り組むべきと考えるがどうか。

答 「新健康かつしか21」を策定し、健康寿命の延伸を目指す。区民と協働で健康的な地域づくり、健康な街づくりに取り組むとともに、「健康都市宣言」について検討したい。

問 道路や公園を活用したセミパブリックな空間を健康の視点でつくりあげ、出会いや交流を育む場を創出してはどうか。

答 ポケットパークや、一般歩行者の通行等が可能な民有地の空地などを道路整備と一体的に行い、セミパブリックな空間を創出し、「出かけたくなる街」を意識して健康で文化的な街づくりを進める。

問 ちよっと腰を掛けられるスペースの創出など、高齢者が「外に出たくなる」環境づくりと、協力してくれる区民への助成についての考えを伺う。

答 腰を掛けられるソーラーサクルの採用やバス停付近のベンチやスツールの設置を進めている。ふるさと葛飾基金を活用するなどして、「外に出たくなる」環境の創出に努めるとともに、区民にも協力を働きかける。

問 低炭素都市を目指して自転車を利用しやすい街にするため、区道に自転車道や自転車の走行空間を設けてはどうか。

答 十分な道路幅員のある路線などについて、自転車の通行帯を分離し、安全で走りやすい自転車走行空間を確保する。

問 自転車を利用しやすくするため、各公共施設に自転車空気入れを備え付けてはどうか。

答 現在、区営自転車駐車場に空気入れが設置されているが、各公共施設への設置も検討したい。

問 既存の道路や堤防などを活用するなどしてサイクリングロードを整備することについて、区の見解を伺う。

答 河川沿いの自転車レーンなど既存施設の整備状況をPRし、観光資源を結ぶ自転車走行空間ネットワークの形成等の検討を行い、自転車を利用しやすい街づくりの推進を図る。

問 学校を健康にすることは都市を健康にすることにつながる。子どもたちの将来を希望するものとするため、「葛飾学力伸び伸びプラン」について、今後どのように取り組んでいくのか。

答 「葛飾学力伸び伸びプラン」は学力向上に向け、各学校が現状に合わせて作成するプランであり、各種検定合格者の増加、自発的な学習に取り組む子どもたちの増加、教員の授業技術の向上などの成果が上がっている。効果のある取り組みを全校に広め、区全体の学力を向上させる。

問 中卒の進路未決定者を出さないための取り組みについて伺う。

答 全校で実施している職場体験や高砂けやき学園の「高砂ハローワーク」の取り組みなどのキャリア教育を推進し、将来の葛飾を支える人づくりを目指す。

問 体力をつける取り組みとして、フェンスで覆ったボール遊びのできる空間を公園に整備すべきではないか。

答 大規模公園の新設や改修の機会を捉えて、地域に積極的に提案したい。

問 区民の健康増進のため、病院の誘致に区はどう取り組んでいくのか。

答 誘致病院を選定したところであり、超高齢社会に対応したリハビリや療養病床、認知症対応機能を備えた、二次救急医療機関としての病院開設に向けた協議を進める。

問 ホタルや錦鯉の生息する親水公園や水辺の創出、桜土手の復活など、街づくりに癒しや心の健康をリセットできる仕組みを取り入れることについて、区の見解を伺う。

答 現在、河川を活用した水辺空間や、緑道、公園内に池やせせらぎを整備しており、今後も街づくりや公園整備において、癒しやすさ、潤いの空間の創出を積極的に行う。

問 地域社会の連帯化を育てることは住民の健康や生活の質を高め健康都市づくりにつながる。地域社会の連帯化の取り組みについて、区の見解を伺う。

答 地域社会の連帯、協働を進めることは重要であり、区民との意見交換会や、地域住民が自発的に活動できる場や資材の提供などの支援を行うほか、コーディネート機能を果たす。健康と食の問題にどう取り組んでいくのか伺う。

か、コーディネート機能を果たす。健康と食の問題にどう取り組んでいくのか伺う。

答 家族で一緒に食事をするなどの普及啓発、栄養教室や栄養相談、食育ネットワークづくりなど、食育の推進の取り組みを進める。

問 文化の成長は健康都市に欠かせない人々の心の豊かさを育てることにつながるが、郷土の歴史性を大切にすべきと考えるが、区の見解を伺う。

答 地域の文化芸術をさらに活性化させるため、あらゆる世代の方々が文化芸術に親しみ、本区の歴史と豊かな文化に触れ、郷土を誇りに思うことができる事業を実施するとともに、地域で活動している方々と協働していく。



モーツァルト像(かつしかシンフォニーヒルズ)

問 モーツァルト像のレプリカは世界で3つ、わが国では本区にしかない。本区でしかない活用に取り組むべきではないか。

答 モーツァルト像のある広場でのイベントの実施、モーツァルトゆかりのコンサート開催など、観たい、聴きたい、行きたいイベントや公演の開催を検討する。

問 国際平和のために、ソウル特別市麻浦区との友好都市提携へ向け、前向きに取り組むべきと考えるがどうか。

答 本年4月に麻浦区友好訪問団を迎え、両区の交流の機運が高まっており、自治体としての草の根レベルの交流の積み重ねにより、麻浦区と今後の友好交流の進め方について検討していく。